

## レベルごとの判断指標

■各レベルの判断については、参考指標も考慮し、総合的に判断を行う。判断にあたっては、専門家の意見も聴取

判断指標		レベル4 避けたいレベル	レベル3 対策を強化すべきレベル	レベル2 警戒を強化すべきレベル	レベル1 維持すべきレベル	レベル0 感染者ゼロレベル
医療体制等への負荷	① 最大確保病床の使用率	入院が必要な新型コロナウイルス感染症患者へ入院加療を提供できない状態	50%以上	—	—	—
	② 重症者用の最大確保病床の使用率	—	50%以上	—	—	—
	③ 人口10万人当たりの全療養者数	—	30人以上 (入院+自宅+宿泊)	10人以上 (入院+自宅+宿泊)	5人以上 (入院+自宅+宿泊)	5人未満 (入院+自宅+宿泊)
感染状況	④ 新規報告数	—	—	5人以上 /10万人/週	2人以上 /10万人/週	2人未満 /10万人/週
	⑤ 予測ツールによる3週間後の病床数	—	最大確保病床数を超過	—	—	—

### 【参考指標】

・大阪府、京都府等の近隣府県の感染状況  
・直近1週間と先週1週間の比較  
・実効再生産数(Rt)  
・入院率  
・感染経路不明割合  
・PCR等検査陽性率

## 現在のレベルについて

判断指標		レベル1の基準	現在の状況(12月15日時点) 「レベル0」
医療体制等への負荷	① 最大確保病床の使用率	—	(1.6%)
	② うち重症者用病床	—	(0.0%)
	③ 療養者数	人口10万人当たりの全療養者数 5人以上 入院+自宅+宿泊	人口10万人当たりの全療養者数 0.7人
感染状況	④ 新規報告数	2人 /10万人/週 以上	0.2人
	⑤ 予測ツールによる3週間後の病床数	—	—